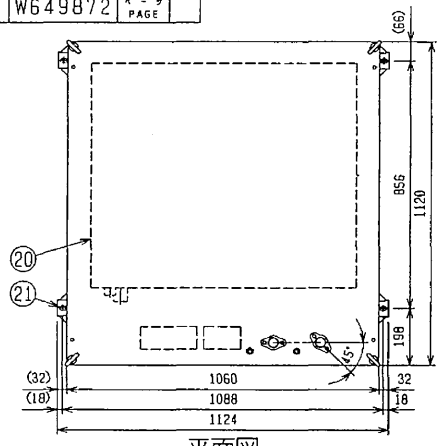
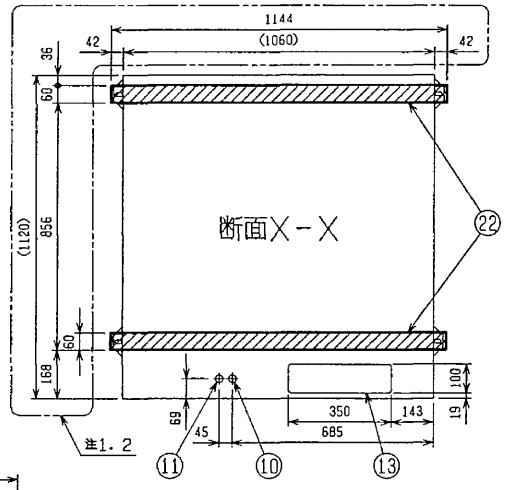
DRAWING NO. W649872 PAGE



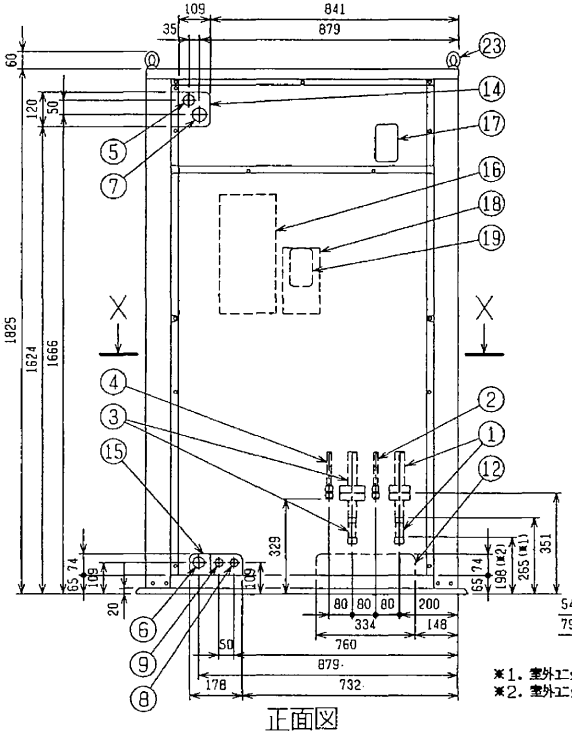
平面図



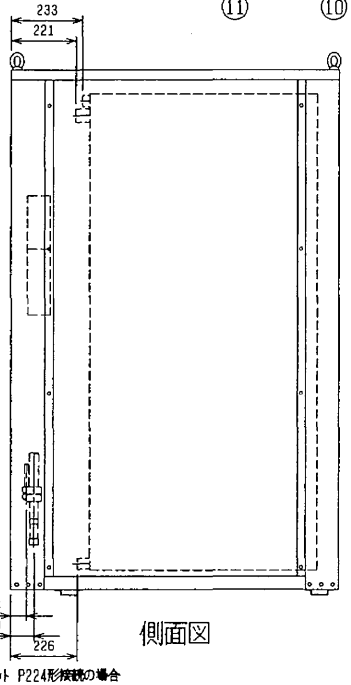
①室外ユニット冷媒配管〈ガス〉
P224形の場合----------φ25．4〈フランジ〉
P280形の場合----------φ28．58〈フランジ、付属短管使用〉
②室外ユニット冷媒配管〈液〉-----φ12．7〈フレア〉
③室内ユニット冷媒配管〈ガス〉
室外ユニットがP224形の場合--φ25．4〈フランジ〉
室外ユニットがP280形の場合--φ28．58〈フランジ、付属短管使用〉
④室内ユニット冷媒配管〈液〉-----φ12．7〈フレア〉
⑤給水管----------1B
⑥排水管----------1B
⑦オーバーフロー管---1 1/4B
⑧前面電源穴------φ27
⑨前面伝送穴------φ27
⑩底面電源穴------φ27
⑪底面伝送穴------φ27
⑫前面配管通し穴〈ノックアウト〉
⑬底面配管通し穴
⑭給水管、オーバーフロー管通し穴
⑮排水管、電線通し穴
⑯制御箱
⑰水位計窓
⑱タイマーキット〈別売部品〉
⑲タイマーキット窓〈ノックアウト〉
⑳蓄熱槽
㉑基礎ボルト穴〈4-14×20長穴〉
㉒基礎（据付架台）〈現地手配〉
㉓吊用アイボルト

蓄熱槽全容積：1．16㎥（有効容積：1．0㎥）
蓄熱槽寸法：高さ1655×幅900×奥行776

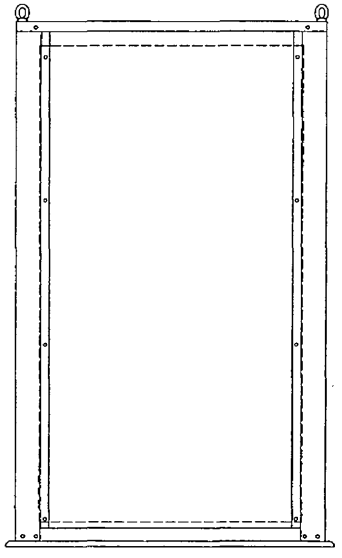
注1．基礎（据付架台）は、少なくとも断面X－X図の斜線部分を確保してください。これ以上広い基礎とする場合は、下取出し時の冷媒配管、電線管が施工できる寸法としてください。
注2．蓄熱槽ユニットの運転質量は、1261kgとなりますので、それに充分耐えられる基礎（据付架台）としてください。据付架台設置の場合は、少なくとも基礎ボルトの真下を支柱受けしてください。
注3．濡れて困るものの上にユニットを据付けないでください。外気条件によってはユニット下部から結露水がたれます。結露水がたれて問題となるところでは、排水処理、集中ドレンパン（別売）設置等の処理を現地で実施してください。結露しても熱満足量は性能面から見て問題ありません。
注4．蓄熱槽への給水は、必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。
注5．下図に示すサービススペースを確保してください。



正面図

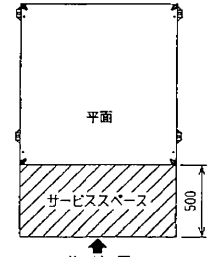


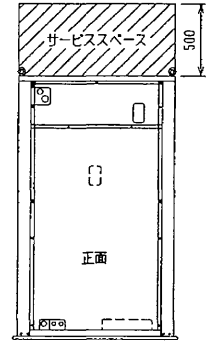
側面図



背面図

※1．室外ユニット P224形接続の場合
※2．室外ユニット P280形接続の場合〈付属短管使用〉





改定 CHANGE		MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION		STY-P10RM-A（-BS，-BSG）
	DIM. IN mm	作成日付 DATE	02－08－09	検認 APPROVED	インバータマルチエアコン フリーブランシステム リプレースマルチ蓄熱槽ユニット（ICE-Ykシリーズ）外形図
	尺度 SCALE	作成 DRAWN			USER b FILE A001
	NTS	照査 CHECKED			W649872 PAGE 1
		設計 DESIGNED			